

## 2. 植物

### 1) 植生の概要

対象事業実施区域及びその周辺における現存植生図を図 2-3-7 に、各年代の空中写真の比較による対象事業実施区域の植生等土地利用の変遷を図 2-3-8 に示す。

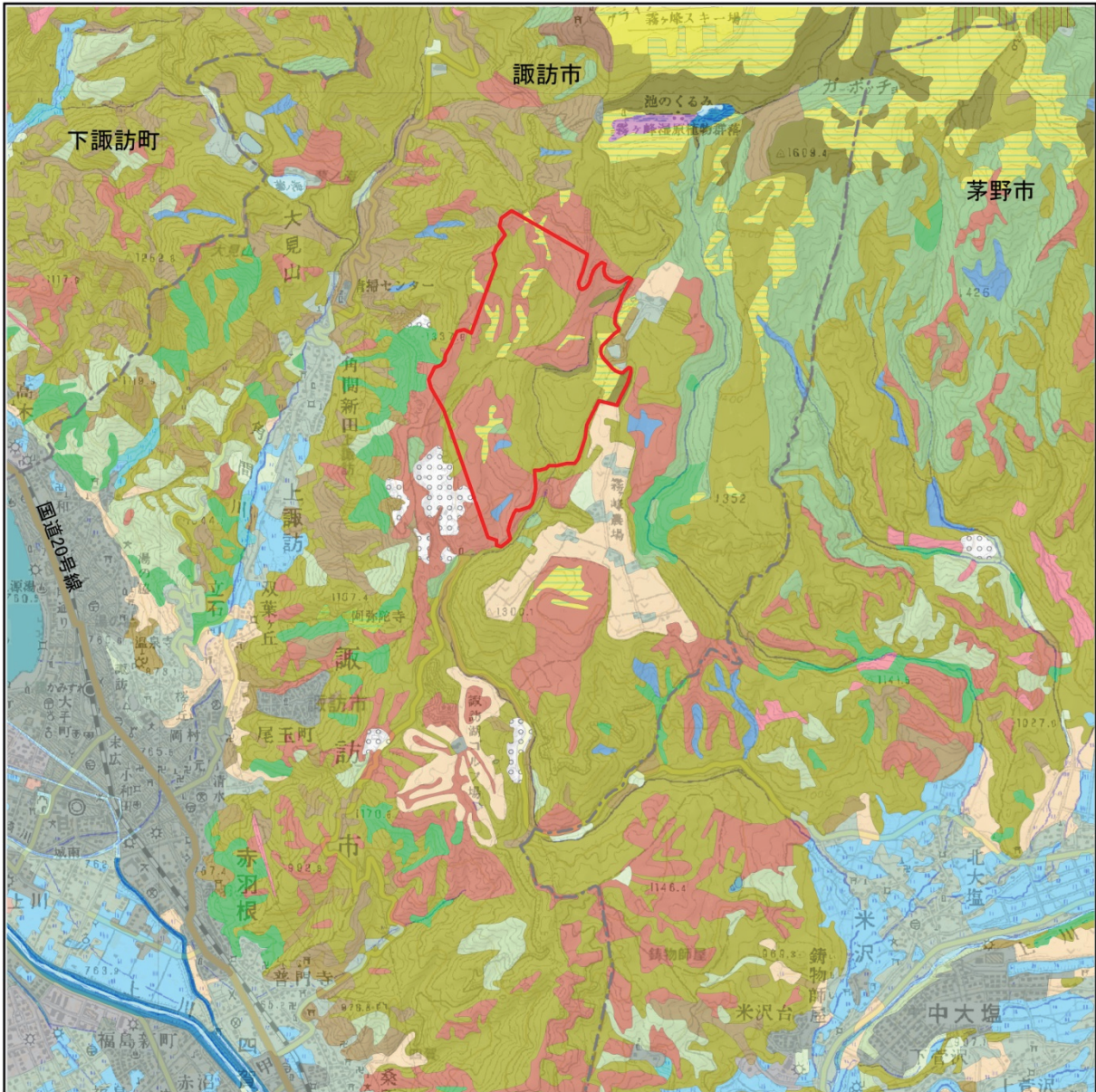
「第 6、7 回自然環境保全基礎調査植生調査」によると対象事業実施区域及びその周辺域は、大部分がカラマツ植林となっており、東側斜面を中心にミヤコザサ-ミズナラ群集が見られる。また、対象事業実施区域より北側には、ツルコケモモ-ミズゴケクラスからなる踊場湿原が存在し、その周囲には、ススキ群団やレンゲツツジ-ズミ群集が見られる。対象事業実施区域の現在の植生をみると、カラマツ植林やアカマツ群落が優占し、その一部にススキ群団やオニグルミ群落等が見られる。

浦山（2006）によると、対象事業実施区域を含む霧ヶ峰の上桑原山地域は、江戸時代以降の採草利用により火入れ等により維持されてきた二次草原であったが、徐々に採草利用がなされなくなり、昭和 24 年（1949 年）以降は、林業などの採草以外の農林業的土地利用が進み、アカマツやズミなどの樹木の侵入やカラマツの植林により森林が成立するようになったとある。対象事業実施区域の空中写真をみても、昭和 22 年（1947 年）には対象事業実施区域はほぼ全域が草地植生であったが、昭和 48 年（1973 年）には北側は草地植生がみられるものの南側を中心に森林植生が成立するようになり、昭和 61 年（1986 年）以降は、谷部の湿地を除くほぼ全域に森林植生が成立しているのがみられる。

横河川の源流部の凹状地や流水部に点在する小規模な湿地には、ミズゴケ群落が見られる。里山において湿原植物や希少植物を含む植生は貴重であることから、長野県レッドリスト（植物編）2014 において、対象事業実施区域のミズゴケ群落（霧ヶ峰（大山牧場西湿原群））が記載されている。

---

【参考文献】浦山佳恵（2006）霧ヶ峰における伝統的な草原の利用・管理とその変遷，長野県環境保全研究所 研究プロジェクト成果報告 4（霧ヶ峰における自然環境の保全と再生に関する調査研究）：11-16.



凡例

対象事業実施区域

- 080100ダケカンバ群落(III)
- 090100ササ群落(III)
- 170301レンゲツツジ・ズミ群集
- 180200ヤナギ低木群落(IV)
- 220110フクオウソウ・ミズナラ群集
- 221103ミヤコザサ・ミズナラ群集
- 221200オニグルミ群落(V)
- 221300ケヤキ二次林
- 230100アカマツ群落(V)
- 250200ススキ群団(V)
- 260000伐採跡地群落(V)
- 410101クレーコナラ群集

図 2-3-7

現存植生図

出典：自然環境保全基礎調査情報提供ウェブサイト（平成 31 年 1 月確認）

- 470100ツルコケモモ・ミズゴケクラス
- 470200ヌマガヤオーダー
- 470400ヨシクラス
- 470501ツルヨシ群集
- 470600ヒルムシロクラス
- 540100スギ・ヒノキ・サワラ植林
- 540700カラマツ植林
- 540900外国産樹種植林
- 540902ニセアカシア群落
- 541000その他植林
- 560200牧草地
- 570100路傍・空地雑草群落
- 570200果樹園
- 570300畑雑草群落
- 570400水田雑草群落
- 570500放棄水田雑草群落
- 580100市街地
- 580101緑の多い住宅地
- 580300工場地帯
- 580400造成地
- 580600開放水域



0 0.5 1 1.5 2km

1:50,000

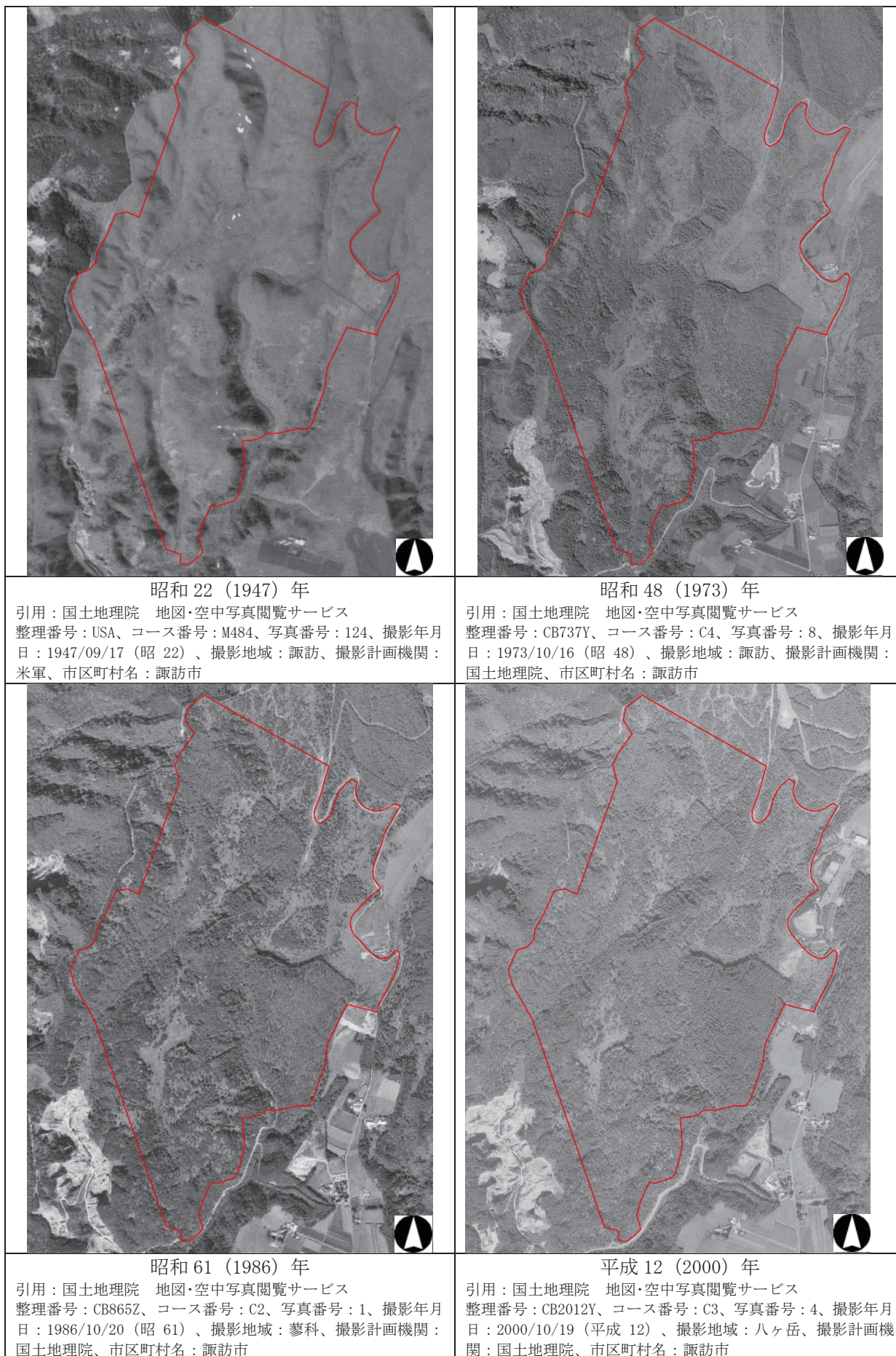


図 2-3-8 対象事業実施区域の植生等土地利用の変遷

## 2) 植物相の概要

対象事業実施区域及びその周辺地域の植物相について、「長野県植物誌」（平成 8 年、長野県植物誌編纂委員会）、「諏訪の自然誌 植物編」（昭和 56 年、諏訪教育委員会）、「霧ヶ峰八ヶ岳の植物」（昭和 64 年、信濃毎日新聞社）などの資料に加え、平成 25～27 年に実施した予備調査の結果を用いて整理した。

既往文献及び予備調査により、対象地域及びその周辺地域において、156 科 1948 種の植物が確認されている。

地域を特徴づける植物としては、分布が霧ヶ峰周辺に限られるキリガミネヒオウギアヤメ、キリガミネアサヒラン、キリガミネトウヒレンなどが、また、点在する湿地を特徴づける植物としては、ミズゴケ類、ヌマガヤ、ツルコケモモ、ヤチカワズスゲ、キセルアザミ、サクラソウなどが挙げられる。

なお、記録されている植物種のリストは、資料編に掲載した。

### 3) 注目すべき植物及び植物群落

注目すべき植物は、法令等の指定種に加え、「長野県版レッドリスト植物」（平成 26 年、長野県）、「環境省レッドリスト 2018」（平成 30 年、環境省）の指定状況を踏まえ選定した。

既往文献及び予備調査により、対象事業実施区域及びその周辺地域で確認されている注目すべき植物を表 2-3-23 に示す。確認されている注目すべき植物は、260 種であった。

また、対象事業実施区域内には、長野県版レッドリストで特定植物群落と選定されている「ミズゴケ群落」（霧ヶ峰（大山牧場西湿原群）、総合評価 A）が分布する。対象群落の位置を図 2-3-8 に示す。

#### 【特定植物群落選定基準】

①保護対策の緊急性、②保護管理状態、③特異性・分布特性、④群落の希少性から総合評価し、A～D の評価基準で判定されている。総合評価 A は、最も高い基準であり、保護の緊急性を要するとされている。

表 2-3-23(1) 調査範囲内で記録されている注目すべき種（植物）

科名	種名	選定根拠				
		文化財	保存法	県条例	環 RL	県 RL
ミズゴケ科	クシノハミズゴケ					CR+EN
	ムラサキミズゴケ					CR+EN
	オオミズゴケ				NT	CR+EN
	コアナミズゴケ					CR+EN
	シタミズゴケ					CR+EN
	チャミズゴケ					CR+EN
	ワラミズゴケ					CR+EN
	ヒメミズゴケ					CR+EN
ミズニラ科	ヒメミズニラ				NT	EN
	ミズニラ				NT	EN
ヒカゲノカズラ科	スギラン				VU	EN
	ヤチスギラン					NT
トクサ科	イヌスギナ					NT
ハナヤスリ科	ヒメハナワラビ				VU	NT
コケシノブ科	チチブホラゴケ					EN
チャセンシダ科	イチョウシダ				NT	NT
オシダ科	ニオイシダ					CR
	イワカゲワラビ				VU	VU
	タカネシダ				CR	EN
メシダ科	テバコワラビ				VU	N
	イヌイワデンダ				NT	
ウラボシ科	イワオモダカ					VU
サンショウモ科	サンショウモ				VU	VU
アカウキクサ科	オオアカウキクサ				VU	EN
マツ科	イラモミ					NT
	ヒメバラモミ				VU	VU
ヒノキ科	ミヤマビャクシン					VU
ツチトリモチ科	ミヤマツチトリモチ				VU	NT
ヤナギ科	コマイワヤナギ				VU	NT
ブナ科	ナラガシワ					VU
タデ科	ハルトラノオ					NT
	ウナギツカミ					DD
	ナガバノウナギツカミ				NT	
	サデクサ					CR
	ノダイオウ				VU	N
ナデシコ科	タガソデソウ				VU	NT
	オオビランジ				NT	VU

表 2-3-23(2) 調査範囲内で記録されている注目すべき種 (植物)

科名	種名	選定根拠				
		文化財	保存法	県条例	環 RL	県 RL
ナデシコ科	ビランジ					EN
	エンピセンノウ			県指定	VU	EN
	エゾオオヤマハコベ					EN
アカザ科	イワアカザ				CR	NT
キンポウゲ科	ミチノクフクジュソウ				NT	N
	フクジュソウ					NT
	イチリンソウ					NT
	レンゲショウマ					NT
	エンコウソウ					VU
	オウレン					EN
	オキナグサ			県指定	VU	EN
	セツブンソウ				NT	VU
	マンセンカラマツ				VU	N
	シキンカラマツ					NT
	キンバイソウ					NT
マツモ科	マツモ					EN
ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ					VU
	ヒメカンアオイ					NT
ボタン科	ヤマシャクヤク			県指定	NT	VU
	ベニバナヤマシャクヤク			県指定	VU	EN
オトギリソウ科	コオトギリ					DD
	ニッコウオトギリ					DD
	アゼオトギリ				VU	CR
ケシ科	ツルキケマン				VU	
	ヤマブキソウ					VU
アブラナ科	クモマナズナ				VU	NT
	ミチバタガラシ					DD
	ミギワガラシ				VU	EN
ベンケイソウ科	ムラサキベンケイソウ				VU	EN
	ツメレンゲ				NT	NT
	マルバマンネングサ					VU
ユキノシタ科	ハナネコノメ					VU
バラ科	キンロバイ				VU	EN
	マメザクラ					NT
	マメナシ				VU	
	アオナシ				VU	N
	ミチノクナシ				VU	
	シロヤマブキ				VU	
	カラフトイバラ					VU
	サナギイチゴ				VU	N
	ナガボノワレモコウ					DD
	ホザキシモツケ					CR
マメ科	モメンヅル					NT
	サイカチ					NT
	レンリソウ					NT
	イヌハギ				VU	N
	ヤマフジ					EN
カタバミ科	オオヤマカタバミ				VU	NT
フウロソウ科	アサマフウロ				NT	NT
	コフウロ					EN
アマ科	マツバニンジン				CR	EN
トウダイグサ科	ノウルシ				NT	EN
	ニシキソウ					VU
	ヒトツバハギ					CR

表 2-3-23(3) 調査範囲内で記録されている注目すべき種 (植物)

科名	種名	選定根拠				
		文化財	保存法	県条例	環 RL	県 RL
ヒメハギ科	ヒナノキンチャク				VU	CR
モチノキ科	オクノフウリンウメモドキ					NT
クロウメモドキ科	ミヤマクマヤナギ					NT
シナノキ科	カラスノゴマ					NT
スマレ科	マキノスマレ					NT
ウリ科	カラスウリ					DD
ヒシ科	ヒメビシ				VU	CR
アカバナ科	ホソバアカバナ					NT
アリノトウグサ科	フサモ					NT
セリ科	エゾホタルサイコ					DD
	カワラボウフウ					CR
ツツジ科	ヒメシャクナゲ					NT
	キョウマルシャクナゲ				VU	NT
	ヒメツルコケモモ				VU	CR
	イワツツジ					CR
サクラソウ科	ギンレイカ					NT
	サクラソウ			県指定	NT	VU
	コツマトリソウ					EN
リンドウ科	オノエリンドウ				VU	NT
	コケリンドウ					CR
	ハルリンドウ					NT
	ホソバノツルリンドウ				VU	NT
	センブリ					NT
ミツガシワ科	アサザ				NT	VU
ガガイモ科	フナバラソウ				VU	VU
	スズサイコ				NT	NT
	コカモメヅル					NT
ムラサキ科	ムラサキ				VU	CR
クマツヅラ科	カリガネソウ					NT
シソ科	カイジンドウ				VU	NT
	ツルカコソウ				VU	NT
	マネキグサ				NT	VU
	メハジキ					NT
	キセワタ				VU	N
	ヤマジソ				NT	NT
	ナツノタムラソウ					DD
	エゾタツナミソウ					VU
	エゾナミキソウ					CR
ナス科	オオマルバノホロシ					VU
ゴマノハグサ科	サワトウガラシ					NT
	アブノメ					CR
	ゴマノハグサ				VU	EN
	オオヒナノウスツボ					NT
	ヒキヨモギ					NT
	ヒヨクソウ					NT
	イヌノフグリ				VU	VU
	キツネノマゴ科	ハグロソウ				
タヌキモ科	イヌタヌキモ				NT	NT
	ミミカキグサ					VU
	ホザキノミミカキグサ					EN
	コタヌキモ					CR
	タヌキモ				NT	CR
	ヒメタヌキモ				NT	VU
	ヤチコタヌキモ				VU	CR

表 2-3-23(4) 調査範囲内で記録されている注目すべき種（植物）

科名	種名	選定根拠				
		文化財	保存法	県条例	環 RL	県 RL
タヌキモ科	ムラサキミミカキグサ				NT	VU
スイカズラ科	クロミノウグイスカグラ					VU
スイカズラ科	コゴメヒョウタンボク				VU	NT
	ツキヌキソウ			県指定	VU	VU
キキョウ科	バアソブ				VU	N
	キキョウ				VU	NT
キク科	キセルアザミ					VU
	アズマギク					VU
	フジバカマ				NT	
	アキノハハコグサ				VU	NT
	スイラン					EN
	タカサゴソウ				VU	VU
	ミヤマヨメナ					VU
	オオニガナ					NT
	ミヤコアザミ					NT
	ネコヤマヒゴタイ				VU	
	ヒメヒゴタイ				VU	VU
	コウリンカ				VU	N
	オナモミ				VU	VU
オモダカ科	サジオモダカ					CR
	トウゴクヘラオモダカ				VU	
	アギナシ				NT	EN
トチカガミ科	ヤナギスブタ					NT
	クロモ					CR
	トチカガミ				NT	EX
	ミズオオバコ				VU	VU
	セキショウモ					EN
ヒルムシロ科	イトモ				NT	VU
	エゾヤナギモ					CR
	コバノヒルムシロ				VU	VU
	センニンモ					EN
	ササバモ					EN
	ホソバミズヒキモ					NT
	ヤナギモ					VU
	ヒロハノエビモ					VU
イバラモ科	イバラモ					CR
	トリゲモ				VU	CR
	オオトリゲモ					CR
ユリ科	ヒメアマナ				VU	CR
	ユウスゲ					NT
	ヤマユリ			県指定		NT
	ササユリ			県指定		NT
	ホソバノアマナ					NT
ミズアオイ科	ミズアオイ				NT	CR
アヤメ科	カキツバタ				NT	NT
	キリガミネヒオウギアヤメ				VU	CR
イグサ科	クモマスズメノヒエ				NT	
ホシクサ科	クロイヌノヒゲモドキ				VU	VU
	ホシクサ					VU
	オオムラホシクサ				VU	VU
イネ科	コウヤザサ					NT
	オニノガリヤス					CR
	チシマガリヤス					CR
	ヤマムギ					CR



表 2-3-23(5) 調査範囲内で記録されている注目すべき種（植物）

科名	種名	選定根拠				
		文化財	保存法	県条例	環 RL	県 RL
イネ科	イヌカモジグサ				VU	VU
	エゾムギ				CR	NT
	ヒロハノハネガヤ					EN
	アワガエリ					CR
	アワガエリ					CR
	イトイチゴツナギ					EN
	タチイチゴツナギ				VU	
	フォーリーガヤ				CR	EN
サトイモ科	ウラシマソウ			県指定		VU
ミクリ科	オオミクリ				VU	CR
	ミクリ				NT	VU
	ナガエミクリ				NT	EN
	ヒメミクリ				VU	EN
カヤツリグサ科	ハタベスゲ				VU	EN
	ヌマクロボスゲ				VU	
	トマリスゲ					EN
	ホソバオゼヌマスゲ				NT	NT
	ホロムイクグ				VU	CR
	エゾツリスゲ					EN
	マメスゲ					VU
	イトヒキスゲ				VU	CR
	ツルカミカワスゲ					EN
	イッポンスゲ					CR
	エゾハリスゲ				VU	VU
	サヤスゲ				VU	CR
	エゾサワスゲ				NT	EN
	クグガヤツリ					NT
	ヌマガヤツリ					EN
	アオガヤツリ					NT
	スジヌマハリイ				VU	EN
	クロヌマハリイ					EN
	ヒメヒラテンツキ					NT
	シズイ					VU
コシンジュガヤ					VU	
ラン科	ミスズラン				CR	CR
	キンセイラン				VU	CR
	ホテイラン			県特別	VU	CR
	ギンラン					NT
	キンラン			県特別	VU	EN
	コアツモリソウ			県指定	NT	CR
	クマガイソウ			県特別	VU	CR
	アツモリソウ		国内	県特別	VU	CR
	イチヨウラン					NT
	キリガミネアサヒラン				VU	CR
	トラキチラン				VU	CR
	ヒメミヤマウズラ					NT
	ミズトンボ				VU	VU
	ギボウシラン				VU	
	タカネフタバラン					EN
	ホザキイチヨウラン					NT
	アリドオシラン					NT
	サカネラン				VU	CR
	ミヤマフタバラン					VU
	カモメラン				NT	EN

表 2-3-23(6) 調査範囲内で記録されている注目すべき種（植物）

科名	種名	選定根拠				
		文化財	保存法	県条例	環 RL	県 RL
ラン科	オノエラン					EN
	ウチョウラン				VU	EN
	コハクラン				CR	CR
	コケイラン					NT
	ヒロハトンボソウ				VU	EN
	ミズチドリ			県指定		NT
	マンシュウヤマサギソウ					VU
	オオバノトンボソウ					NT
	コバノトンボソウ					NT
	トキソウ			県指定	NT	VU
	ヤマトキソウ					EN
	ヒトツボクロ					NT
	ツレサギソウ					CR
	キバナノショウキラン				VU	
ショウキラン					VU	

※選定根拠

文化財：文化財保護法

特天：特別天然記念物、国天：天然記念物、県天：長野県天然記念物

保存：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律

国内：国内希少野生動植物種、特定：特定国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種、

緊急指定種：緊急保存

県条例：長野県希少野生動植物保護条例

県指定：指定希少野生動植物、県特別：特別指定希少野生動植物

環 RL：環境省レッドリスト 2018

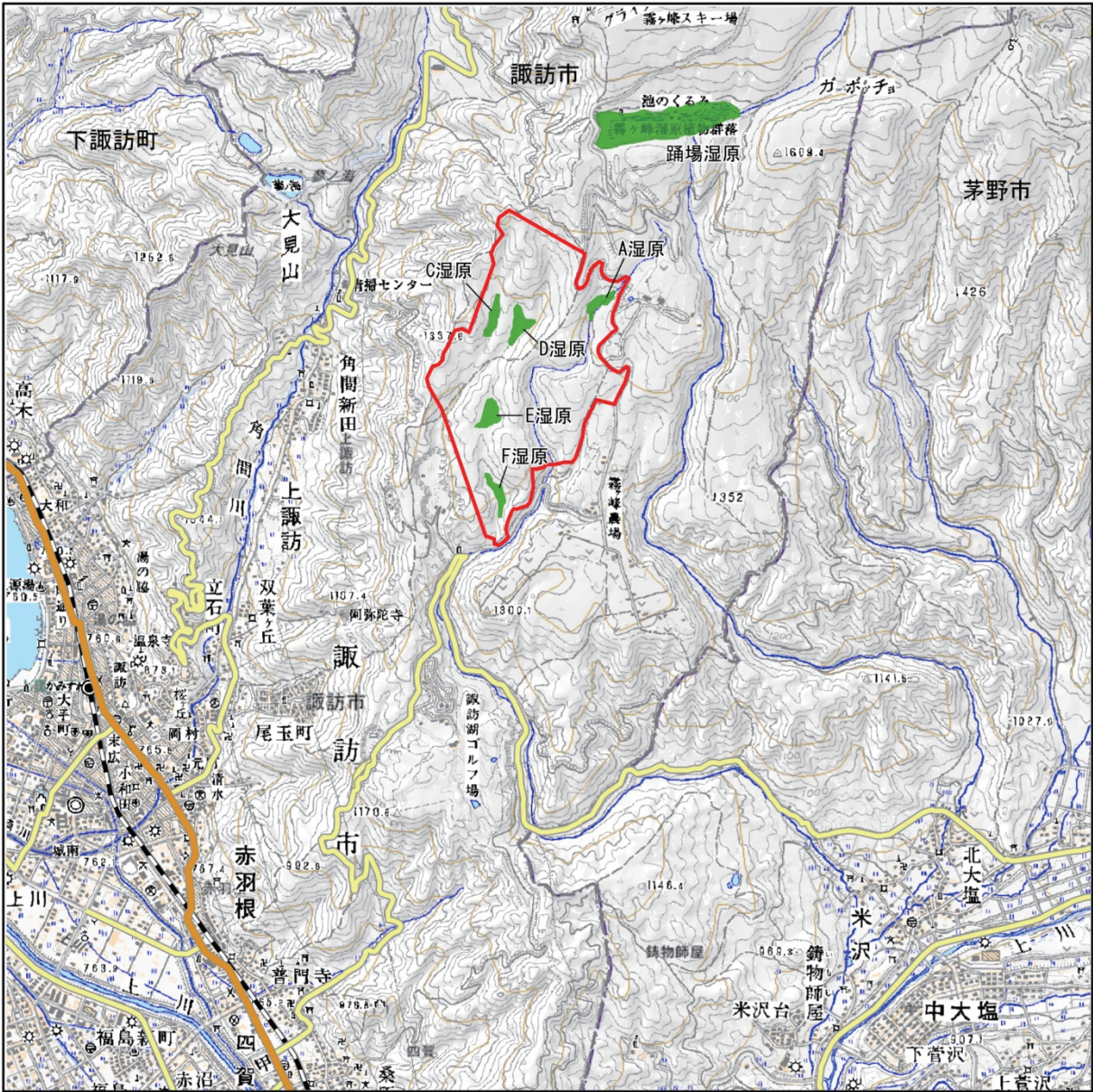
EX：絶滅種、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、

NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

県 RL：長野県版レッドリスト（植物編（Ⅰ維管束植物、Ⅱ蘚苔類・地衣類・菌類））（平成 26 年）

EX：絶滅種、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、

NT：準絶滅危惧、DD：情報不足



凡 例

- 対象事業実施区域
- 湿原

図 2-3-8  
 特定植物群落「ミズゴケ群落」  
 (大山牧場西湿原群) の位置

出典：「メガソーラー発電事業に伴う環境調査及び環境保全対策の検討報告書」(株式会社 Loop)

